



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHINORI AKIZUKI
8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
HYOGO JAPAN

1998年11月 第5号
Chartered July 20, 1982

標語(1998~1999)

クラブ会長	『楽しく奉仕と活動を』
国際会長	"Positive Commitment to Practical Action"
	『さあ! 実行のとき』
アジア会長	"Friendship & Peace Forever" 『友情と平和を永遠に』
西日本区理事	"Positive Commitment to Practical Action"
	『さあ! 実行のとき』
中西部長	『初心にかえり、奉仕しよう』

クラブ役員

会 長:	秋月 利英
副 会 長:	池永 洋宣
" :	藤原 正巳
書 記:	福永 嘉彦
" :	芳崎 栄治
" :	坂本 哲朗
会 計:	三浦 直之

月間強調テーマ:『BF』

＝11月の聖句＝

兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。だから、わたしたちの中で完全な者はだれでも、このように考えるべきです。

(フィリピの信徒への手紙 3章13~15節)

＝Attention Please!＝

11月はBFの月です。恒例の切手整理を行いますのでハサミをご持参下さい。楽しい語らいの中で、前年度"BF優秀賞"を受賞する原点となったスタンプ・カッティングを楽しみましょう。!

＝11月のお誕生日＝

下記の方々です。Happy Birthday!

川村君 2日、山村君 6日、栗山君 9日、池永(雅)君 10日

＝10月の出席状況＝

中西部会の開催により、53.6%と前月に比し少しばかり改善しました。出席率70%が当面の目標です。19人出席で達成可能です。一度トライしましょう。

＝11月第1例会＝

日 時: 1998年11月18日(水) 6.30~8.30 p.m.
場 所: 大阪リーガランドホテル

司会: 川越 利信 君

1.開 会 点 鐘	藤原正巳副会長
2.ワ イ ズ ソ ン グ	一 同
3.聖 句 朗 読	田中 穰二 君
4.ゲ ス ト 紹 介	藤原正巳副会長
5.日々の糧・黙祷	一 同
6.晩 餐	一 同
7.BFアピール	山村BF委員長
切 手 整 理	一 同
8.お 誕 生 日 祝 い	一 同
9.ニコニコ献金	ドライバー
10.役員会・委員会報告	各役員・委員長
11.YMCA ニュース	神田連絡主事
12.閉 会 点 鐘	藤原正巳副会長

＝11月の例会当番＝

第3班の皆様です。よろしくお願いします。
(田中、山村、秋月、三浦、川越、畠中)

【主な行事予定】

11月 7日(土)	いのちの電話バザー
11月 8日(日)	チャリティーラン
12月16日(水)	センテニアルX'mas パーティー
12月22日(水)	YMCA土佐堀館 X'mas
1月15日(金)	中西部新年会

会 員 数	例会出席	第1	第2	BFポイント	ニコニコ献金	ファンド
在籍会員 28名	メ ン	13名	5名	10月: 切手 1,426gr.	10月: 15,500円	10月: 現金 0円
広義会員 0名	メネット	5名	1名	現金 2,500円		テレカ 1000円x 0枚
合 計 28名	コメント	0名	0名	累計: 切手 4,494gr.	累計: 65,950円	500円x 0枚
出席率 53.6%	ビジター	3名	0名	現金 9,500円		累計: 現金 5,200円
(メカアップを誌)	ゲ ス ト	1名	0名		(クリスマス献金、オークション 売上げ、記念献金を除く)	テレカ 1000円x 1枚
	合 計	22名	6名	(明細は別冊"BF報告"の通り)		500円x12枚

— 今月の聖句に寄せて —

私どもが人生で生き甲斐を感じ、いきいきと毎日を過ごしている時は、その人が目標を追い求めている時です。逆に目標を失った時は、生きる意欲さえも失います。

パウロは神から褒美を得るためにキリストに従うという目標に向って、世俗的な名誉をかなぐり捨て走り続けて参りました。

目標に向って進むことをゴール・オリエンテーションと言いますが、誰もがこの性質を持っています。

そしてその目標は、自分を満足させるものから、他の人に喜びを与えようとするものまで色々とあります。然し、私は、他者への奉仕を目標にすることによって自己の真価を高めることができると考えていますが、皆様はどうお考えになるでしょうか。

(聖句選・解説：黒田蔵之)



(豪華な"PTA"が出席された畠中君の入会式)

— 10月第1例会報告 —

(10月21日(水)6.30p.m.)

三浦直之

当日はEMC強調月間にふさわしく、4名の大物ゲスト(田中正彦 中西部EMC主査、加藤寅夫 次期中西部長、松田稔 元大阪YMCA副総主事・元ワイズ日本区書記、谷川俊一(財)大阪府青少年活動センター企画推進部長)を迎えて例会が行われました。

栗山中西部長が会長代行の代行とし開会点鐘を行った後、藤田康博君の聖句朗読に続き畠中彬君の入会式が行われました。

入会に際し松田稔氏より、「若い頃からYMCAで大変活躍されたこと」、「ワイズメンとしてふさわしい方であること」など、畠中君についての紹介がありました。11月のチャリティーランには早速ランナーとして参加頂けることとなり、同君の今後の活躍が大いに期待されるようです。

晚餐に引続き、当日のメインテーマである田中正彦中西部EMC主査による卓話が行われました。

「ワイズへの勧誘に当っては、大勢人が集まっているところで呼かけるよりは、個別に声をかける方が効果的であること」、「会長を経験して初めてワイズが理解できるようになったこと」、「仕事だけの人生ではなく奉仕活動などに積極的に参加することで有意義な人生が送れること」、「普段例会にあまり出席しない人でもお祭りや行事になると出席率が良くなること」など同氏の体験を熱っぽく語られました。

続いて役員会・委員会報告があり、中西部会、チャリティーラン、いのちの電話バザー、YMCA土佐堀館クリスマス・パーティーなどについての案内、確認、依頼がなされました。定刻、閉会点鐘により実り多い秋の例会が熱い余韻を残して終了しました。以上

— 10月第2例会報告 —

(10月28日(水)6.30p.m.)

藤原正巳

年末年始の繁忙期を控え、議事の多い第2例会となりました。当日の決定事項は下記の通りです。

1. 11月第1例会プログラム：別掲の通り
2. 12月第1例会プログラム：

例年通りクリスマス例会となりますが、本年はYMCA土佐堀館の共同パーティーなどもあり、内輪のパーティーを実施することとした。

開催日：12月16日(水)

場 所：リーガ・グランドホテル

会 費：5,000円(立食形式)30人予定

3. クラブ運営関係

①98/99中西部会精算

赤字による未払額 98,451円については、月例分未精算額と併せ精算することとした。

②中西部メネット大会

下記スケジュールで準備を進めることとした。

開催日：平成11年3月6日(土)

場 所：リーガ・グランドホテル

会 費：6,000円(和食)50人動員

卓 話：講師の人選を早急に実施

③第18回十勝アジア大会参加の件

20%動員目標につき協議、実行可能と判断。

④お誕生日祝品

スプーン、フォーク各20個の発注を決定。

⑤月間功労賞

神戸絵はがき利用、担当はドライバーと決定。

⑥班編成—畠中氏は第3班に編入。

4. EMC関係

事情を勘案し、掛江氏の退会申し出を承認した。

5. Yサ・ASF

- ①チャリティーラン出席(山田、栗山、畠中、三浦、中村メネット&コメント、藤原)

6. CS関係

- ①いのちの電話バザー出席(黒田、山田、栗山、三浦、山村、隅田M、中村M、池永M) 以上



(EMCへの熱い思い！田中・中西部EMC主査卓話)



(元気発射！宮崎前日本YMCA同盟総主事の講演)

＝中西部会ニュース＝

第2回中西部会が晴天の10月24日、101名のワイズメンを迎えリーガラッドホテルで華々しく開催されました。

第1部は栗山中西部長の開会点鐘の後、黒田メンによる聖書朗読・開会祈祷、来賓挨拶、中西部事業報告などが議事通り粛々と進められました。

最後のY3WESTの活動報告は、日本の語学教育やワイズ認識のあり方などが凝縮された様な内容で、我々としても大いに考えさせられる報告でした。

次いでアジア大会や西日本区大会など盛り沢山のアピールが各区・部・クラブからなされた後、休憩を挟んで当日のメインイベントである宮崎前日本YMCA同盟総主事による講演が行われました。

講演は予定テーマのレンジを越えて多方面におよび、同氏のYMCAライフの総決算的なお話となりましたが、同氏の若々しくエネルギッシュなお話は、その中味と共に多くのワイズメンの心を捉えた様に思います。

第3部のマンドリンコンサート、第4部の懇親パーティーは、坂本メネットのよく準備された司会や、懐かしい青春時代の歌の全員による合唱などにより大いに盛り上がり、いつもながらの楽しい一時でした。

栗山中西部長、山田中西部書記、メネットの皆さんなど、多くの人々の力で部会が成功裡に終了したことに感謝致します。(藤原記)

＝10月BFニュース＝

BF委員長：山村 幸明

◇切手提供者：

鈴木君、栗山君、隅田君、三浦君、黒田君、福永君、堀井君、坂本君、山田君、山村君、谷川君、津田榮君、池永(弟)君、池永(勲)君

* 当月の殊勲賞(山田君:524gr、黒田君:223gr.)

◇現金提供者：栗山君、山田君、山村君

なお、切手・現金の当月計、本年度累計は、第1面に記載しております。

＝YMCAニュース＝

連絡主事：神田 尚人

* 早天祈祷会

日時：11月20日(金) 午前7時半～8時半
場所：大阪YMCA会館 10Fチャペル
証し：山部聡子氏(大阪YMCA職員)
会費：300円(軽食代)

* 教育講演会「西村耕さんを囲んで」

日時：11月13日(金) 午後6時30分～
場所：西YMCA
テーマ：人と出会う一自分らしくイキイキと生きるためには(理事長のお話です)

* J.R.モットに学ぶ会

日時：11月26日(木) 午後6時30分～
場所：大阪YMCA会館 10Fチャペル
講師：坂口順次氏(平安女学院理事長、元立教大学教授)

日本のYMCA運動推進に大きな功績を残したモットの足跡を学ぶことを通して、21世紀に向けてYMCA運動を考える時を持ちます。

* 劇「再会」上演

日時：12月1日(火)
場所：大阪YMCA会館 2Fホール
チケット：前売り3,000円、当日3,500円

* 今月も各Yで催しが盛り沢山です。(11月後半の主なものを紹介)。他は「大阪青年」11月号4面でご確認下さい。

* 大阪YMCAは10月1日より総主事として錦織一郎を選任し、新しい体制で難局に向うことになりました。皆様のご支援とご協力を願い上げます。

＝IBCニュース＝

IBC委員長：谷川 寛

私達のブラザー、香港ボヒニア・クラブが10月17日にチャーター19周年を祝いました。当クラブからお祝いのメッセージを発信しましたが、(原文省略)来年6月ハワイでのブラザーの集まりに、ボヒニアも参加願えるよう、ヌアヌ・クラブのラリー・ヒラナカ氏と二人で働きかけをしております。

♂♂♂ ニコニコメッセージ ♀♀♀

○本日は未熟な私をスピーカーとしてお招き頂き、有難うございました。今後共どうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。(田中正彦)

○記念すべき平成10年10月に入会させて頂き、これから皆様と一緒に活動させて頂きます。皆様との出会いを感謝し、今後の永いつなかりを期待しています。(畠中 彬)

○長い間欠席致しました。介護保険の勉強。受験してみましたが、多分×。改心して来月も出席します。皆様の暖かいお顔に接しほっとしました(池永栖子)

○お体の調子が悪い方が多い様ですが、季節柄お体にお気をつけ下さい。畠中様ご入会おめでとうございませう。(池永美智子)

○本日は素晴らしいゲストをお迎えし感激致しております。このような方々を紹介者として入会された畠中君の今後のご活躍をお祈り致します。(栗山佳三)

○松田稔先輩、谷川部長さん達PTAの付き添いで畠中君の入会式、心よりお喜び申し上げます。今後はやめるにやめられませんか。(黒田敏之)

○多数のゲスト参加があった例会でした。畠中さんご入会おめでとうございませう。中西部会に参加の皆さん、有難うございませう。(坂本哲朗)

○畠中さんご入会おめでとうございませう。10月24日の中西部会が成功しますように願っています。(坂本千春)

○畠中彬氏の入会を祝し永い青少年活動のご経験をワイズ活動に生かして下さいよう願います。(鈴木謙介)

○畠中様ご入会おめでとうございませう。メネット様もぜひご参加下さい。メネット一同お待ちしております。中西部のお土産作りも準備が整いました。感謝申し上げます。(隅田恵子)

○茨木クラブの田中さんのぞっくばらんなお話楽しく聞きました。"苦労話"参考になります。(谷川 寛)

○畠中さん入会おめでとうございませう。新しい力を期待しております。(津田葉清政)

○畠中さん入会おめでとうございませう。行事が一杯の秋です。体を大切に頑張りましょう。(中村幸枝)

○畠中様、入会おめでとうございませう。これからもよろしくお願い致します。チャリティーランに向けてコンディショニング調整中です。(三浦直之)

○畠中メンのご入会をお祝いします。同氏の入会に2名のゲストが付き添ってられました。全く素晴らしいこと。今後のご活躍をお祈りします。(福永嘉彦)

○久しぶりでしたが大変楽しかったです。お互いに助け合って人間関係を築くこと、派閥を作らないこと、相手の批判をしないことなど、田中様のお話大変参考となりました。(堀井由里子)

○たくさんのゲストでの例会、畠中さんの入会、メネットさんのご出席をお待ちしております。主人が欠席で申し訳ありません。(山村利子)

○今日も元気で例会に参加できたことを感謝しております。(芳崎栄治)

個人消息

先月号ブレティンでお知らせした如く、谷川メンが豪州・南クインズランド大学で講義をされました。その模様を投稿して頂きました。

「一度、海外の大学で教えてみたいと思っていましたが、その機会が比較的早くやってきました。9月14日から5日間、ブリスベン近郊の高原の町タウンバーにある University of Southern Queensland (10学部を持つ総合大学) 経済学部で「日本経済—現在の問題と展望」と題する集中講義を担当しました。

参加した教授・学生は約20名、日本の大学と違い多くの質問があり、活発な討論の場となりました。特に5日目の「日本とアジア経済」の講義では、アジアからの留学生が大いに発言し、授業時間が2時間もオーバーしました。

先生方とは午前10時半と午後3時半のティータイムにコーヒー・ショップで情報交換をしましたが、滞在中は私が主な情報源で、何時も7~8人の先生方が私の周りに集まってきました。オーストラリア経済は日本に対する依存度が非常に高く、世界経済について日本人との意見交換を求めていることが分かります。大学の先生を含め日本人がもっと発言し、日豪間の意見交換の場を作るべきと感じました。

最終日の朝、学部長のアレンジで先生方によるお別れの朝食会を開いて頂きましたが、皆和気あいあい、来年も帰ってくる様にと励ましを受けました。

オーストラリアの大学はキャンパスも広く、先生と学生の交わりの場も多くあります。学生も総じて勉強に熱心で、昼食を共にしながら議論を交わす光景に何度も出会いました。オーストラリアで大学のあり方を教えられた様な気がしております。また、機会をみて海外遠征をしたいと考えております。(谷川 寛)